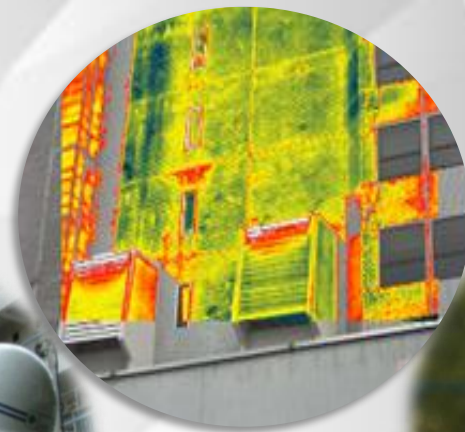
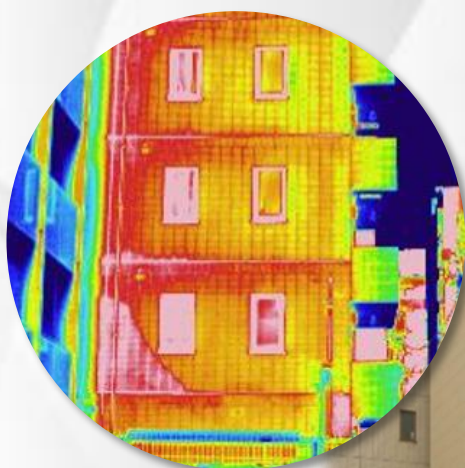


# 第4回 定期報告制度における 赤外線サーモグラフィによる外壁調査セミナー



## 開催趣旨

2022年4月の建築基準法第12条の告示改正により、「赤外線装置によるタイル、モルタル等の外壁調査の方法」が明確化され、また、国土交通省から「赤外線調査(無人航空機による赤外線調査を含む)による外壁調査ガイドライン」が発行されました。

今後ますます需要が高まるものと予想される赤外線装置（赤外線サーモグラフィ）による外壁調査。

本セミナーでは、当協会・代表理事を務める阪上隆英が、建築基準法の改正点や注意点、外壁調査ガイドラインの主旨等をわかりやすく解説いたします。

また、赤外線測定の基礎や外壁診断の留意点、ドローンを活用した外壁調査の実例も学ぶことができます。

この機会に是非、赤外線装置（赤外線サーモグラフィ）による外壁調査のために必要な知識を身につけましょう。

日時・  
場所

2025年

**4/24** 木 午前10時～

大田区産業プラザPiO 特別会議室

後  
援

- ・（一財）日本建築防災協会
- ・（公社）ロングライフビル推進協会
- ・（一社）日本非破壊検査協会
- ・（一社）日本建築ドローン協会

※ 順不同、敬称略

主催：一般社団法人日本赤外線サーモグラフィ協会

# 定期報告制度における赤外線サーモグラフィによる外壁調査セミナー 概要

**日時** 2025年 **4月24日**(木) 10時～17時

**会場** **大田区産業プラザPiO 6階会議室**  
(ZOOMによるオンライン受講が可能)

**定員** 対面受講：50名、オンライン受講：80名

**料金**

会 員	¥17,400.-	テキスト代と 消費税10%を 含みます
非 会 員	¥24,000.-	
後援会員	¥19,600.-	



プログラム	主な内容	時間	講師
外壁調査ガイドライン について	・ガイドラインの主旨 ・全体の解説	10:00 ～ 11:45	神戸大学 (当協会理事長) 教授 阪上隆英 *1
赤外線計測の基礎	・熱の伝わり方 (放射、伝導、対流) ・赤外線による温度測定 の原理 ・測定の注意事項	13:00 ～ 14:45	神戸大学 (当協会理事長) 教授 阪上隆英
赤外線による 外壁診断の留意点	・調査時期、時刻 (日射量との関係) ・天候、風、測定角度による影響 ・仕上げ材の材質、形状による影響 ・報告書事例	15:00 ～ 16:15	(株) 東設土木コンサルタント 事業推進部 新技術開発グループマネージャー 作中隆之 *2 (当協会インストラクター)
調査の実例について	ドローンを活用した外壁調査の実例	16:30 ～ 17:00	(株) コンステック 技術本部 構造ソリューション部 技術企画室長 佐藤大輔

\*1 : 国土交通省「赤外線装置を搭載したドローン等による外壁調査手法に係る体制整備検討委員会」委員

\*2 : 国土交通省「赤外線装置を搭載したドローン等による外壁調査ガイドライン作成WG」委員

※ プログラムの内容や時間等に変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 受講前の準備

受講前に、国土交通省のホームページにアクセスし、「**赤外線調査(無人航空機による赤外線調査を含む)による外壁調査ガイドライン**」をご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/jutakuken\\_tiku/build/jutakukentiku\\_house\\_tk\\_000161.html](https://www.mlit.go.jp/jutakuken_tiku/build/jutakukentiku_house_tk_000161.html)



## 会場アクセス

〒144-0035  
東京都大田区南蒲田1-20-20

- ・京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
- ・JR京浜東北線「蒲田」駅より徒歩約13分
- ・東急池上線・多摩川線「蒲田駅」より徒歩約15分

## お申し込み・お問い合わせはこちら

お申し込みは当協会ホームページにて承ります

**ita** 一般社団法人  
**日本赤外線サーモグラフィ協会**  
Japan Infrared Thermography Association

<https://www.thermography.or.jp>